



令和7年2月27日
国土交通省北陸地方整備局

ルートインジャパン株式会社と災害対応に関する協定を締結 「災害時に職員が利用する宿泊施設の確保等の協力に関する協定」

【概要】

国土交通省北陸地方整備局は、災害時に被災地へ TEC-FORCE（緊急災害対策派遣隊）を派遣する際に、現地の活動拠点となる宿泊施設を確保することを目的として、ルートインジャパン株式会社と協定を締結しました。

宿泊施設の確保を迅速に行うことにより、被災地を支援する体制を早期に確立し、被災状況の把握、被害の拡大防止、被災地の早期復旧等に対する技術的な支援を円滑かつ迅速に実施します。

1. 締結者

- 国土交通省 北陸地方整備局長 高松 諭
- ルートインジャパン株式会社 代表取締役 永山 泰樹

2. 協定の内容

- ①派遣先近隣にある宿泊施設の情報提供
(避難所として開放されている施設を除き、提供可能な施設の名称、部屋数及び宿泊可能日数等)
- ②宿泊施設の迅速な確保
(1年365日、昼夜を問わず派遣される TEC-FORCE の活動特性を踏まえ、土日、祝日等の休日及び夜間を含む対応が可能な予約窓口を設置)

3. 協定締結日

令和7年2月25日（火）

〔同時発表記者クラブ〕
新潟県政記者クラブ
新潟県政記者クラブ
富山県政記者クラブ
石川県政記者クラブ
長野県庁会見場
長野市政記者クラブ
その他専門紙

〔問合せ先〕

国土交通省 北陸地方整備局 防災室
総括防災調整官 堀内 崇志（内線 2119）
防災管理官 青木 淳一（内線 2123）
電話 025-280-8836（直通）

TEC-FORCEとは

※TEC-FORCE(Technical Emergency Control FORCE) : 緊急災害対策派遣隊

- 大規模自然災害への備えとして、迅速に地方公共団体等への支援が行えるよう、平成20年4月にTEC-FORCEを創設し、本省災害対策本部長等の指揮命令のもと、全国の地方整備局等の職員が活動。
- TEC-FORCEは、大規模な自然災害等に際し、被災自治体が行う被災状況の把握、被害の拡大の防止、被災地の早期復旧等に対する技術的な支援を円滑かつ迅速に実施。
- 南海トラフ巨大地震や首都直下地震をはじめ、大規模自然災害の発生が懸念されている中、令和6年4月には隊員数を約1万7千人に増強(創設当初約2,500人)。ドローン等のICT技術の活用や、装備品等の増強など、体制・機能を拡充・強化。

活動内容

➢ 災害対策用ヘリコプターによる被災状況調査

災害対策用ヘリコプター
「ほくりく号」



「ほくりく号」による千曲川上空の浸水調査

【令和元年東日本台風】
(長野県長野市上空)

➢ 市町村へのリエゾン派遣



【H27.5 口永良部島の火山活動】
(鹿児島県屋久島町)

➢ 被災状況の把握



【令和2年7月豪雨】
(熊本県五木村)

➢ 被災映像の共有



【令和3年7月1日からの大雨】
(島根県飯南町)

➢ 自治体への技術的助言



【令和4年8月の大雨】
(山形県米沢市)

➢ 排水ポンプ車による緊急排水



【H30.7月豪雨】
(岡山県倉敷市真備町)

➢ 捜索活動への技術的助言



【H28.4 熊本地震】
(熊本県南阿蘇村)

➢ 給水機能付き散水車による給水支援



【R6.1能登半島地震】
(石川県かほく市)

ROUTE INN GROUP

ルートインジャパン株式会社

※令和7年2月1日現在



ルートインジャパン株式会社は、全国にホテルや飲食店、ゴルフ施設などを展開するルートイングループの中核企業です。運営するホテル352施設[※]、ホテル総客室数約62,000室規模のホテル運営・管理・企画を担っています。

様々なお客様のニーズにお応えするため、ビジネスタイプの「ホテルルートイン」、観光タイプの「ルートイングランティア」、シティタイプの「アークホテル」、リゾートタイプの「グランヴィリオホテル」という異なるコンセプトを持つ4つのホテルブランドを展開し、事業計画500店舗達成を目指しています。

災害時におけるルートイングループの取り組み



備蓄倉庫(長野県)



倉庫内の保管物資



2011年 東日本大震災(給水活動)



2024年 能登半島地震(給排水管の復旧工事)



2024年 能登半島地震(給水活動)

防災備蓄倉庫

全国4箇所に防災備蓄倉庫を設置しており、災害時には被災地への救援物資輸送を行っています。

※倉庫には保存水や各種衛生用品、非常食、給水タンク等を保管しています。

施設部隊による復旧作業

災害時には、自社の施設部隊がいち早く現場に駆け付け、ホテルの復旧作業にあたります。

※自社給水車両を使用した給水活動や受水槽・灯油タンクの沈下による傾きを復旧する工事等

被災地復興の一助に

能登半島地震では地震発生6日後、東日本大震災では10日後に、復興支援者の宿泊を受け入れることができました。被災したホテルを一刻も早く「宿泊できる施設に戻すこと」を大切にしています。